

# 2017年3月期 第2四半期 決算補足資料

The logo for Belisna, featuring the Japanese characters "ベリスナ" in a bold, stylized, black font.

2016年10月31日（月）

# 1. 連結損益計算書

売上高は予算通り着地。営業利益も特殊要因※を除くとほぼ予算通り。  
一方で経常利益と当期純利益は為替関係損益が大幅なマイナスとなった  
為に損失を計上。

※特殊要因・・・

- ・新たに取得した(株)マイムの季節要因 ▲3.2億円
- ・総合通販事業での媒体の前倒し発行 ▲3.9億円

単位：億円

| 連結         | 16/3期2Q累計 | 17/3期2Q累計 |        |      | 17/3期   |
|------------|-----------|-----------|--------|------|---------|
|            | 実績        | 実績        | 予算比    | 前年比  | 予算      |
| 売上高        | 621.6     | 666.8     | 1.0%   | 7.3% | 1,400.0 |
| 売上原価       | 278.3     | 292.1     | 0.7%   | 5.0% | 616.0   |
| 販売管理費      | 312.2     | 343.2     | 4.0%   | 9.9% | 674.0   |
| 営業利益       | 31.1      | 31.5      | -21.4% | 1.2% | 110.0   |
| 営業外損益      | 0.6       | -39.5     | -      | -    | 0.0     |
| (内、為替関係損益) | (-2.5)    | (-45.7)   | -      | -    | -       |
| 経常利益       | 31.7      | -8.0      | -      | -    | 110.0   |
| 当期純利益      | 18.6      | -8.3      | -      | -    | 70.0    |

## 2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 ～ 不動産販売が無かったプロパティ事業を除きすべて増収

営業利益～ リューション他4事業が増益。店舗販売等3事業が減益

- ・リューションと看護師向け通販（専門通販）が好調。媒体発行の前倒しを除くと総合通販も
- ・店舗販売は新たに取得した(株)マイムの季節要因もあって、プロパティは不動産販売収益がないなどで減益

### セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

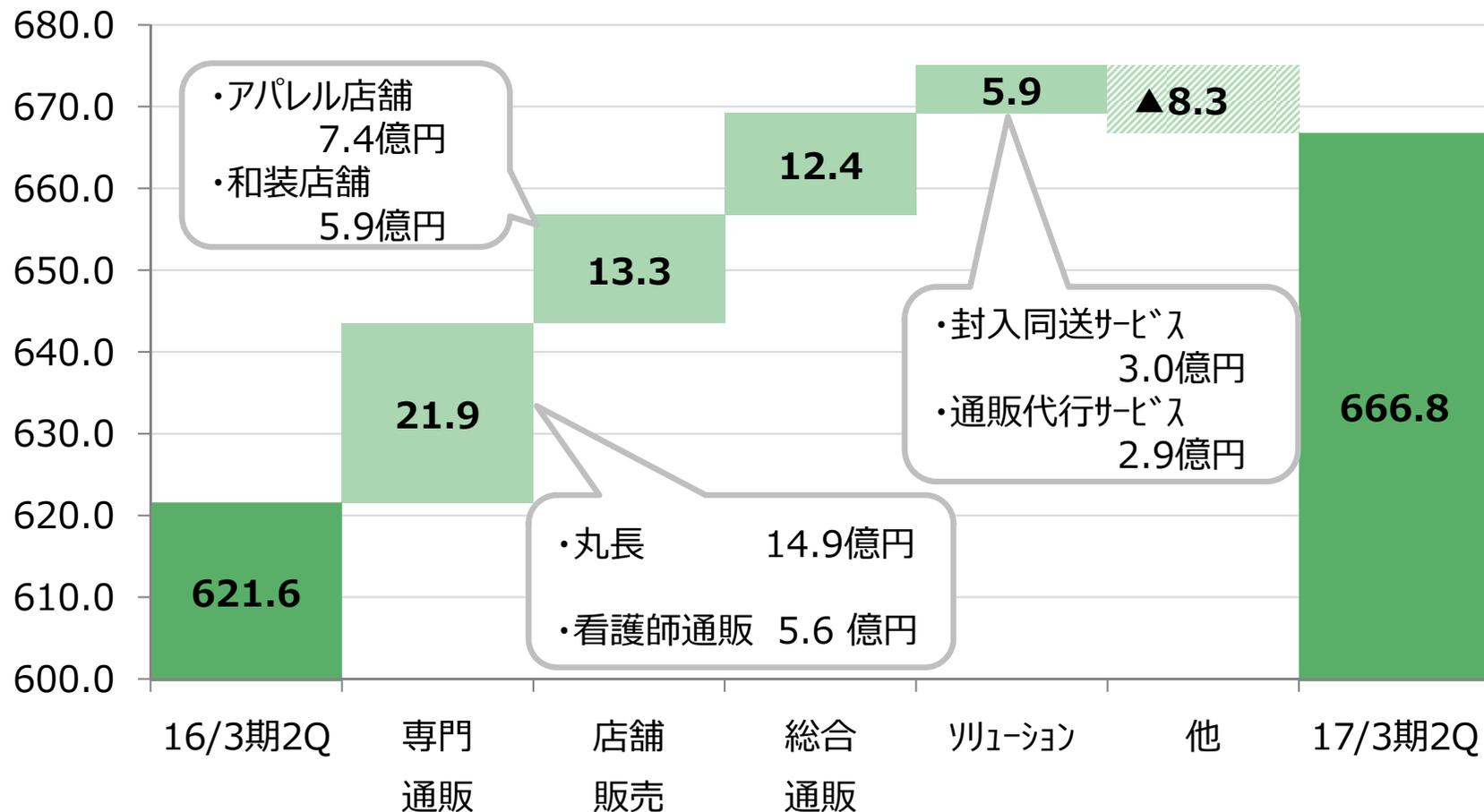
|         | 17/3期2Q累計 |          |          |        |        |        |        |          |       |
|---------|-----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|----------|-------|
|         | 総合<br>通販  | 専門<br>通販 | 店舗<br>販売 | リューション | ファイナンス | プロパティ  | その他    | 連結<br>消去 | 計     |
| 売上高     | 341.4     | 187.7    | 62.5     | 27.6   | 15.1   | 18.2   | 17.7   | -3.4     | 666.8 |
| 前年比 (%) | +3.8%     | +13.2%   | +27.0%   | +27.0% | +7.3%  | -39.3% | +17.5% | +5.8%    | +7.3% |
| 営業利益    | 10.4      | 7.6      | -2.2     | 13.0   | 5.4    | 0.2    | -1.4   | -1.6     | 31.5  |
| 前年比(億円) | 1.6       | 3.3      | -3.4     | 4.4    | 1.0    | -5.2   | -0.7   | -0.6     | 0.4   |
| 営業利益率   | 3.1%      | 4.1%     | -3.6%    | 47.2%  | 35.8%  | 1.0%   | -7.9%  |          | 4.7%  |

### 3. 売上の増減分析

専門通販事業や店舗販売事業に加え、総合通販事業も増収を牽引。またリユース事業も好調に推移

売上高の増減要因

単位：億円

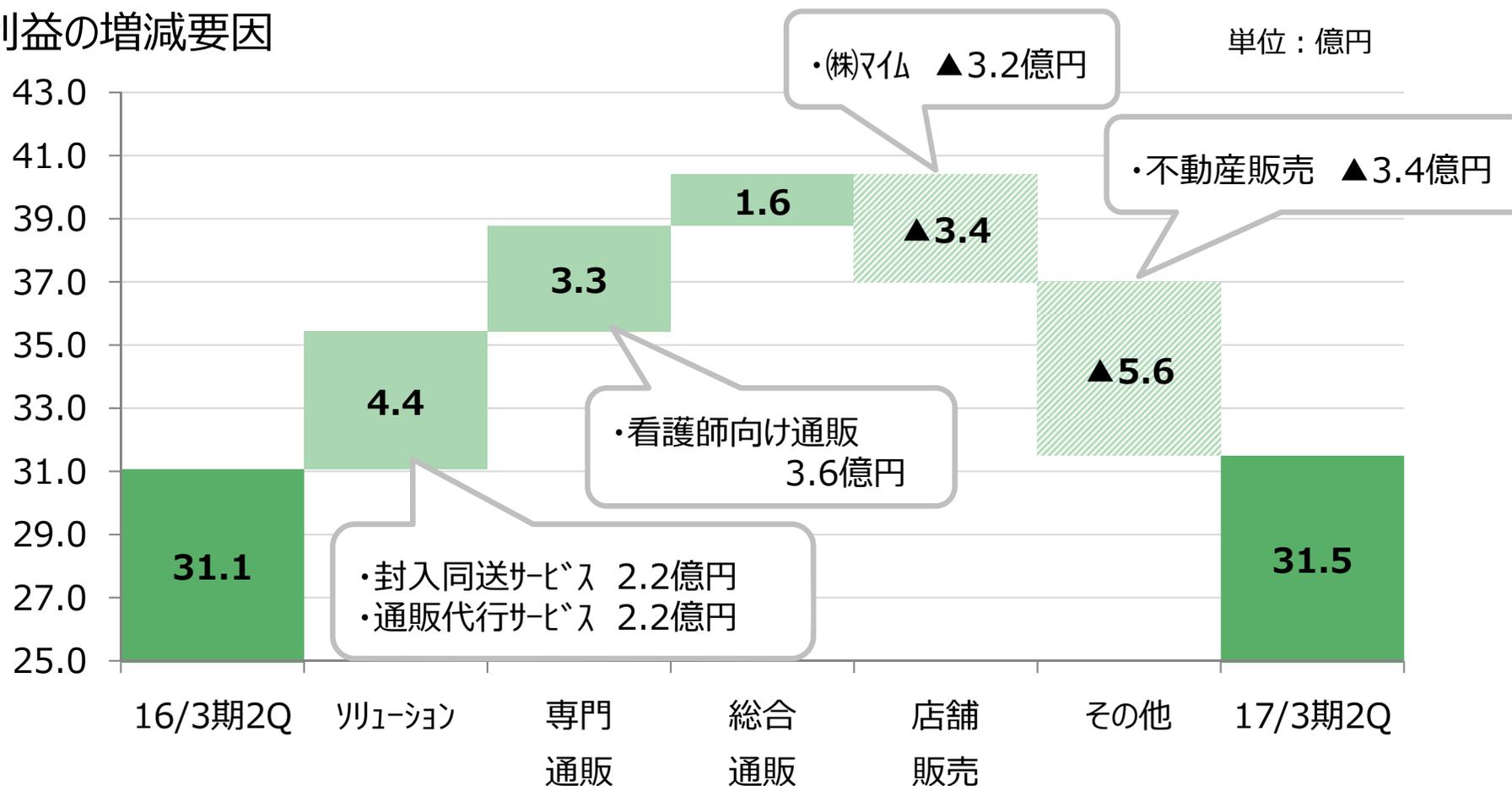


## 4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

封入同送サービスの増収効果と通販代行サービスの収益改善により、リノベーション事業が、また看護師向け通販の好調に支えられて専門通販事業が増益  
一方で店舗販売事業は(株)マイムの季節要因で、プロパティ事業は不動産販売がなかったことなどで減益

営業利益の増減要因



## <本資料に関する注意事項>

本資料は、2017年3月期第2四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年10月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

## <IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp